

## 令和7年度第1回山口県文化芸術審議会議事録（概要）

日 時	令和8年2月27日（金）13時30分から15時00分
場 所	県政資料館2階 第1会議室
委員現在数	13人
出席委員	山口委員、朝水委員、西崎委員、足立委員、田村委員、山本委員、五十嵐委員、松尾委員、藤里委員、上村委員、花柳委員、小阪委員、江原委員 以上13人全員出席 (事務局) 岡本審議監、藤井課長、熊崎副課長、松藤調整監、神田主査、矢野主査、河村主幹、繁松主任、石本主事

### 1 議 事

- 本県の文化芸術の振興に向けた取組状況について
- 令和8年度の主要事業（案）について
- 中学校部活動改革について

### 2 主な発言

- ▽ 「ダンス☆オン☆きらら」は若い人の参加が非常に増えている。こうしたイベントは少なくとも3年間は継続して実施する必要がある、6年程度継続実施して初めて広がりが見えてくる。単年度限りの実施では効果は限定的であり、継続が重要である。
- ▽ 県の文化活動の広報については、学校に多くのパンフレットが届いており、周知が徹底されていることは承知している。その一方で、選択肢が多い中から学校がどの文化活動を選ぶかはたいへん難しい。また、学校は地域に根差した文化活動にも取り組んでおり、本校の近隣で鷺流狂言を実施している方を講師として招いている。子どもが文化芸術に関わることで、裾野の拡大につながると考えている。
- ▽ 部活動の地域展開により、交通手段の確保等で保護者の負担が増大するのではないかとずっと懸念していたが、本日の説明を聞いて、山口県の取組は全国的にも進んでいると感じたため、当面は見守りたい。